



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2016/5/29 Rd-2 岡山国際サーキット

天候：曇/雨 気温：23°C 出走台数：19台

観客数：28日(土)4,500人、29日(日)7,000人 合計11,500人

決勝の岡山国際サーキット。午前中は曇り空でフリー走行が行われたが、11時を過ぎたころから雨が降りはじめ、決勝レースはフルウェットコンディションとなった。

雨脚は弱まるごとに増々強くなるため、レースはセーフティーカーランでスタート。

19台のマシンは隊列走行を続ける。この間もチームはいくつかのオプションを考え、3周目にバンドーン選手にピットインを指示。給油を済ませ隊列最後尾に戻った。この動きを見た7台が続々とピットイン。バンドーン選手はピットイングループ首位の13番手で走行を続ける。この後レースがスタートし、ピットインしていない車両が給油に向かえば、バンドーン選手は労せずして優勝を狙えるポジションへジャンプアップできると踏んでいた。

対して先頭グループの野尻選手はセーフティーカーラン継続の終了を待った。こちらはセーフティーカーランが長引けば、ガソリン給油の必要がなくなり、このまま首位争いを狙う戦略。6周目にはオリベイラ選手がトラブルでリタイヤしたため、野尻選手4番手、バンドーン選手12番手で今後の展開を待つ。しかし、雨脚はますます強まり、競技団はセーフティーカーランが9周目に差し掛かったところで、赤旗を提示。レースは中断となった。そこから天候の回復を待ったが、午後4時05分、再開は断念され、野尻選手4位(周回数がレース距離の75%に達していないため、選手権ポイントは半分が与えられる)、バンドーン選手12位となった。

40：野尻 選手 4位 (HONDA勢3位)

雨の量はとても多く、コースに留まることすらかなり困難な状態でしたが、レースができなかったことは残念です。セーフティーカーランがもう少し続き、レースが再開されれば、チームの戦略もうまく機能すると予想していました。

この週末に見えた弱点もあるので、チームとともに改善し、より強くなつて次戦富士に戻ってきます。

41：バンドーン選手 12位 (HONDA勢6位)

日本の雨はすごいなと思った。セーフティーカーの後で走っただけなので、本当のレースが出来なかつたけど、チーム戦略は面白い結果になると思っていた。ただ雨はますます強くなつたので、レース中断の判断は正しいと思う。せつかく来てくれたファンの前でレース出来なかつた事は残念だけど、中止後のピットウォークでファンとの一時を楽しめたよ。次戦富士はハイスピードコース、十分に準備して臨みます。